

令和8年7月30日

邑楽町長 橋本 光規 様

邑楽町特別職報酬等審議会  
会長 阿部 浩明

議会議員の報酬並びに町長、副町長及び教育長の給料について（答申）

本審議会は、令和8年6月25日付け邑総発第246号で諮問のあった標記の件について、慎重に審議した結果、別紙のとおり答申いたします。

# 答 申 書

## 1 答 申

議会議員の報酬の額並びに町長、副町長及び教育長の給料の額については、次のとおりとすることが適当である。

### (1) 議会議員の報酬の額

議会議員の報酬額については、現状の額を維持することが妥当である。

議 長 月 額 3 2 8, 0 0 0 円 (現行据置き)

副議長 月 額 2 5 0, 0 0 0 円 (現行据置き)

委員長 月 額 2 3 2, 0 0 0 円 (現行据置き)

議 員 月 額 2 2 7, 0 0 0 円 (現行据置き)

#### 【選定理由】

- ・年間の拘束日数(会議日数等)を考慮した場合、現行の報酬水準は一定の妥当性があること。
- ・無投票当選が続いている現状において、町民の理解を得るためには、さらなる活動の見える化や実績の提示が必要であると判断したため。

### (2) 町長、副町長及び教育長の給料の額

町長、副町長及び教育長の給料額については、平成15年より継続されている10%の減額措置を解消し、本来の給料月額に復元(増額)することが妥当である。

町 長 月 額 7 9 8, 0 0 0 円 (+ 8 0, 0 0 0 円)

副町長 月 額 6 4 6, 0 0 0 円 (+ 6 5, 0 0 0 円)

教育長 月 額 5 9 6, 0 0 0 円 (+ 4 5, 0 0 0 円)

#### 【選定理由】

- ・20年以上の長きにわたり減額措置が継続されており、近隣自治体と比較しても低い水準にあること。
- ・職責の重さや、土日を含む公務対応など勤務実態を考慮し、適正な給料体系に戻すべきであると判断したため。

### (3) 実施時期

上記(2)の改定については、予算編成および条例改正の手続きを考慮し、令和9年4月1日から施行することが適当である。

## 2 審議経過及び内容

第1回審議会 令和8年6月25日 開催

第2回審議会 令和8年7月17日 開催

第3回審議会 令和8年7月30日 開催

本審議会は、過去における報酬等の改定状況、類似団体や近隣自治体の報酬等の状況、物価上昇等社会情勢の推移及び人事院勧告による本町一般職員の給与改定状況についての資料など、客観的事実に基づき、現行の議会議員の報酬額並びに町長、副町長及び教育長の給料額が適正であるか慎重に審議を重ねた。

審議では、「給料と報酬の性質の違い」と「活動量の違い」が焦点となった。給料は「労働の対価」であり、報酬は「業務の結果・成果の対価」である。職員は、土日、祝日以外は毎日出勤して仕事をしている。町長をはじめとした3役は、職員と同じく出勤し、プラスで土日、祝日も公務をしている。それに対して議員は、年4回の議会で約40日とプラスで議員活動も行っているが、3役と比べれば活動量が少ないこと、活動内容や取組の成果が十分に町民へ伝わっていないこともあり、答申のような結果となった。

## 3 付帯意見

報酬等の審議過程で今後議会において検討すべきとされた事項について、次のとおり意見を申し添える。

### (1) 議員のなり手不足解消に向けた取組

議員のなり手不足の原因としては、報酬面の改善だけで済む問題ではないと思われる。議会としても、このなり手不足解消に向けた取組について、議員一丸となってしっかり議論を重ね、新たな議会の在り方を検討されるよう切に願う。

### (2) 議員定数について

議員定数については、本審議会の審議事項ではないが、過去2回の無投票当選が続いている現状や今後の邑楽町の人口減少も鑑みて、議員定数の削減も含めた適正な定数管理について検討されたい。

### (3) 活動の「見える化」と情報公開

議員報酬は、町民の税金によって賄われている。報酬額の改定にあたっては、その根拠となる職務の内容や実績について、町民へより一層分かりやすく周知し、透明性を高める努力を継続してもらいたい。

#### 4 おわりに

人口減少社会に突入し、邑楽町の人口も年々減少傾向にある。町民の代表としての議員、そして行政運営の責任者である町長をはじめ、副町長及び教育長が果たすべき役割と責任は、ますます重要なものになってくる。

議員並びに町長、副町長及び教育長におかれては、今後も町の発展と町民サービス向上のために、なお一層のご尽力を期待してやまないものである。

以上

#### 邑楽町特別職報酬等審議会委員

会 長 阿部 浩明

職務代理 長山 清

委 員 大竹喜代子

大野 仁

岡田 真幸

栗原 實

澤口 洋一

須永 篤

高澤 透

横山 正行